

# 令和7年度の取組と成果及び 今後の取組について



# ① 令和6年能登半島地震からの復旧復興について

担当 学校教育課

## 文教施設・文化施設の復旧

令和6年能登半島地震により被災した文教施設・文化施設について一日も早く安全に利用できるよう復旧を行った。

### 1 小中学校の復旧

令和6年能登半島地震により被災した小中義務教育学校12校のうち、特に大きな被害を受けた宮田小学校以外の学校は令和6年度末までに復旧を完了した。

宮田小学校の法面復旧工事については、令和6年8月に着工し、令和7年9月に関連工事を含めすべてが完了した。



## 2文化・社会教育施設の復旧

被災した社会教育施設（9施設）の災害復旧工事は令和7年度末で全ての施設が完了する。  
令和7年3月12日告示により、特定地方公共団体に氷見市が選定され、公立社会教育施設災害復旧補助金の対象となり、全施設が選定された。

### 災害復旧施設

- 1 芸術文化館
- 2 教育文化センター
- 3 加納地域まちづくりセンター
- 4 碁石公民館
- 5 余川公民館
- 6 速川公民館
- 7 明和公民館
- 8 藪田公民館
- 9 仏生寺公民館

### 令和7年度繰越

- |                        |                    |
|------------------------|--------------------|
| 1 芸術文化館駐車場等復旧工事        | 7月31日完成            |
| 2 教育文化センター駐車場復旧工事      | 6月12日完成            |
| 3 加納地域まちづくりセンター体育館復旧工事 | 6月6日入札・契約、3月下旬完成予定 |

### 令和6年度完了

- 1 教育文化センター受水槽復旧工事
- 2 碁石公民館修繕（上下水道破損、壁クラック等）
- 3 余川公民館修繕（壁クラック等）
- 4 速川公民館修繕（壁クラック等）
- 5 明和公民館修繕（壁クラック等）
- 6 加納地域まちづくりセンター修繕（上下水道館等）

### 令和5年度完了

- 1 芸術文化館スピーカー等修繕
- 2 教育文化センター給水管破損修繕
- 3 藪田公民館修繕（体育館窓、玄関戸等）
- 4 仏生寺公民館修繕（体育館トップライト等）

### 3 スポーツ施設の復旧

令和6年1月1日に発生した能登半島地震の影響により、市内スポーツ3施設において多数の被害が発生した。震災直後から各施設の早期営業再開や利用者安全確保に向け、災害復旧工事などを進め、令和7年5月をもって全て完了した。

各施設の災害復旧工事等の内容について、次のとおりである。

#### ●ふれあいスポーツセンター

- ・5年度 EV前2階床修繕、エントランスガラス修繕、弓道場ガラス修繕
- ・6年度 貯湯槽配管修繕、2階連絡通路修繕、構内舗装道路復旧工事
- ・7年度 駐車場復旧工事

#### ●市民プール・トレーニングセンター

- ・5年度 プール天井修繕、給湯シャワー系配管修繕、器具庫排風機取替修繕
- ・6年度 プール室内壁修繕、破損ガラスブロック修繕、プール会議室壁雨漏り修繕
- ・7年度 駐車場復旧工事

#### ●B & G海洋センター

- ・5年度 体育館給水管修繕工事
- ・6年度 階段補修工事
- ・7年度 艇庫駐車場復旧工事

## 避難所の生活環境向上と運営体制強化

近年の夏の状況を踏まえ、災害時の指定避難所に指定されている小中学校及び義務教育学校の体育館には、教育環境の改善の面から、また、災害時における避難所機能を強化し、耐災害性の向上を図る観点から空調設備の整備が必要である。

現在、国の令和6年度補正予算を活用し、避難者数が最も多かった避難所である南部中学校体育館への空調設備設置工事を実施中であり、今後は、部活動等でも使用する中学校の体育館を優先して整備していく。

# ◎②学校給食費の支援について

担当 学校教育課

(令和7年度)

学校給食支援事業

予算額 88,258千円  
(物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金)

物価高騰が恒常的に見込まれることから、令和7年4月から小学校(義務教育学校(前期課程))、中学校(義務教育学校(後期課程))ともに給食費を値上げ(30円~60円)したことに伴い、保護者の負担軽減を図るため、改定後の給食1食あたりの単価の1/2を助成

対象：

【市内通学者分】各給食会計へ補助(学校給食センター、湖南小学校、灘浦小学校、十三中学校、西條中学校)

【市外通学者分】保護者からの申請により学校給食費の1/2を支援

# 学校給食費の抜本的な負担軽減（いわゆる給食無償化）

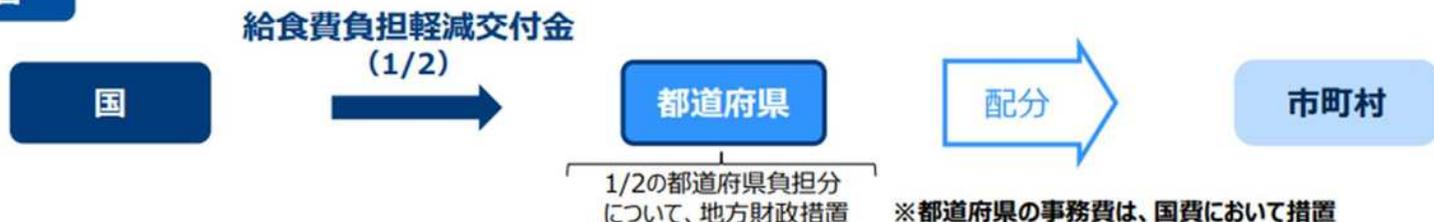
令和8年度予算額（案）

1,649億円  
（新規）



子育て支援に取り組む自治体を支援する観点から、各般の合意等（★）に基づき、**学校給食費の抜本的負担軽減のための「給食費負担軽減交付金」を創設し、都道府県に対し交付する。**（※個人ではなく、自治体向けの支援策）

## 事業内容



### ● 小学校段階(公立)の学校給食に係る食材費を支援（国1/2、都道府県1/2）

- 支援額(※1)：給食実施校の在籍児童数(※2) × 基準額(※3) × 11か月 × 1/2

※1：特別支援学校小学部においては、特別支援教育就学奨励費負担金を優先し、同負担金による支援が基準額に満たない場合、基準額との差額を支援

※2：毎年5月1日現在。また、生活保護の教育扶助、要保護児童に該当する児童を除く。

※3：都道府県からの申請が、右記の額を下回る場合には、その金額

- 基準額を超える部分については、学校給食法に基づき、引き続き、保護者から徴収可能（特色ある給食の提供に係る各省関係事業等も柔軟に活用可能）
- 非喫食者の取扱いについては、学校設置者の判断に委ねる（※交付金については、非喫食者も含めた在籍児童数で算定。）

### ● 基準額

基準額	小学校・義務教育学校前期課程	特別支援学校小学部
完全給食	5,200円	6,200円
補食給食	4,800円	5,800円
ミルク給食	1,200円	1,200円

完全給食：パン又は米飯等＋ミルク＋おかず  
補食給食：ミルク＋おかず  
ミルク給食：ミルクのみ

（基準額の考え方）

令和5年度学校給食費調査の全国平均（完全給食の場合、小学校で4,688円）に、近年の物価動向を加味して設定

- ★
- 「自由民主党、公明党、日本維新の会 合意」（令和7年2月25日）
  - 「学校給食費の抜本的な負担軽減（いわゆる給食無償化）について」（令和7年12月18日自由民主党・公明党・日本維新の会 無償化を含む、多様で質の高い教育の在り方に関する検討チーム）
  - 三党合意に基づくいわゆる教育無償化に向けた対応について（令和7年12月19日 文部科学省・総務省・財務省）

（担当：総合教育政策局健康教育・食育課）

# ②学校給食費の支援について

担当 学校教育課

(令和8年度予定)

## 学校給食支援事業

予 算 額	165,871千円
物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金	86,306千円
給食費負担軽減交付金	79,565千円

小学校における国の学校給食費の抜本的な負担軽減（いわゆる学校給食費無償化）を実施するとともに、小学校給食費の基準額超過部分についても全額負担するほか、中学校給食費を令和7年度の半額補助から全額補助に拡充し、子育て家庭の経済的負担の軽減を図るもの。

対象：

【市内通学者分】各給食会計へ補助（学校給食センター、湖南小学校、灘浦小学校、十三中学校、西條中学校）

【市外通学者分】保護者からの申請により、他で補助されない学校給食費を支援

国の小学校のいわゆる学校給食費無償化ではカバーされない部分も支援することにより、栄養バランスや量を保った給食を提供し、子育て世帯の経済的負担の軽減や、安心して子育てのできる環境づくりにつなげていく。



## ③学校の長寿命化について

担当 学校教育課

### 背景・経緯

令和元年度に策定した「学校施設の長寿命化計画」に沿い、早急に対応が必要な4校（窪小学校、北部中学校、比美乃江小学校、西條中学校）について、長寿命化改修工事を実施するもので、令和5年度に窪小学校（教室棟2棟、いずれも昭和51年築のRC造3階建）の基本設計及び実施設計を行った。令和6年度から2年間での工事とし、令和6年度は仮設校舎の設置と北棟の工事を行い、令和7年度は南棟の工事と仮設校舎の解体及び撤去を行った。

### 令和7年度

令和6年9月～ 1期工事（北棟）：令和7年4月完工  
令和7年4月～ 2期工事（南棟）：令和7年11月完工  
令和7年11月～ 仮設校舎解体・撤去

### 今後の予定

今後の学校施設の長寿命化事業については、能登半島地震による復旧事業を優先しなければならなかったことから、次の学校への着手が当時の計画より2年間延期となる見込みである。



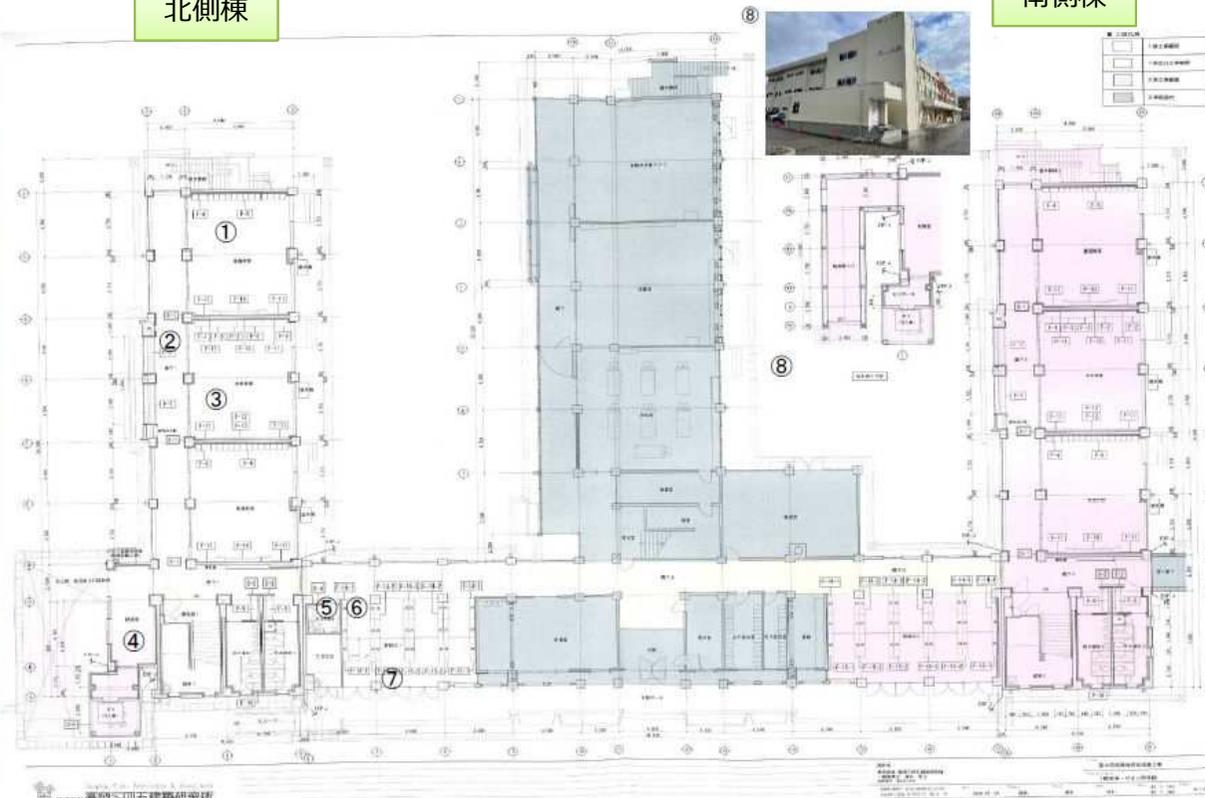
# ③学校の長寿命化について

担当 学校教育課

窪小学校長寿命化改修工事

北側棟

南側棟





## ④ ICT教育の取組について

担当 教育総合センター

### ICTを活用した授業づくり研修会の開催

講師：富山大学大学院 教授 長谷川 春生先生

#### 上庄小学校

第2学年生活科

「わたしたちの野さいばたけ」



「Teams」…一人一人のチャンネルに写真やコメントを時系列に記録→電子黒板で写真を見せながら説明することができた。

#### 比美乃江小学校

第5学年図画工作科

「HPG(比美乃江ポージングギャラリー～名画を体でかんSHOW)」



「アート・カードアプリ」…画像を拡大して細部まで詳しく確認 →感じたことや考えたことを「PowerPoint」のスライドに入力しながら鑑賞することができた。

#### 北部中学校

第1学年数学科

「比例と反比例」



「Excel」…数値を入力してグラフを自動で作成→「PowerPoint」のスライドにグラフを貼り付け、共同編集で解決方法を入力できた。



## ④ ICT教育の取組について

担当 教育総合センター

### ソフト関連企業による研修会

「eライブラリアドバンス」活用研修会  
(eライブラリの効果的な活用)

「スマイルネクスト」基礎研修会  
(スマイルネクストの活用を推進)

### 校務用端末活用研修会

GIGAスクールサポーターによるOutlookやWordの活用

オンライン

短時間

### プログラミング教材活用研修会

対面

体験を通して





# ④ ICT教育の取組について

担当 教育総合センター

## 情報活用能力の育成に向けた調査・研究 (ICT教育推進委員会)



### 氷見市 ICTスキル体系表 (小学校版)

		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
基本操作	操作	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源のオンオフ</li> <li>クリック・ダブルクリック</li> <li>音量調整</li> <li>写真や動画の閲覧</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真や動画のコピーや削除</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ファイルの作成と名前の変更</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>フォルダの作成と名前の変更</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的に合わせて、フォルダ内にファイルを整理して保存</li> </ul>	
	画像 動画	<ul style="list-style-type: none"> <li>カメラで写真を撮る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>カメラで動画を撮る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ピントを合わせて写真や動画を撮る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じて写真や動画を切り取る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>画像を編集する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>画像・動画を編集する</li> </ul>
	情報 検索	<ul style="list-style-type: none"> <li>手書き入力(フリック入力)で画像を検索</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ソフトキーボードを使って検索する(Yahoo!キッズ等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ローマ字入力をして、サイトを検索する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いくつかのキーワードをローマ字入力し、必要な情報を集める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いくつかのサイトを比較して、情報を選択する</li> </ul>	
タイピング				ローマ字入力でのタイピング (10文字/1分間)	20文字/1分間	30文字/1分間 (漢字や言葉に変換)	40文字/1分間 (漢字や言葉に変換)
チームズ (Teams)		<ul style="list-style-type: none"> <li>起動する</li> <li>先生からの連絡を閲覧する</li> <li>会議の参加の仕方を知る</li> <li>アンケートの回答をする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>共有フォルダへのファイルのアップロード</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>メッセージ投稿</li> <li>コメントやスタンプの返信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ファイルの閲覧・共有</li> <li>ファイルの共同編集</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パワーポイント、ワード等の共同での編集</li> <li>授業や特別活動等で活用する。</li> </ul>	
オフィス	ワード			<ul style="list-style-type: none"> <li>ローマ字入力での文字を入力する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の思いや考えを2文程度の文章で表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文字の大きさやフォントの変更</li> <li>画像の挿入</li> </ul>	
	パワー ポイント				<ul style="list-style-type: none"> <li>1枚のスライドで、文字や写真等を使って、自分の思いや考えを表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>複数枚のスライドで、文字や写真等を使って、自分の思いや考えを表現する。</li> </ul>	
	エクセル					<ul style="list-style-type: none"> <li>教師が作成した表に数値や文字を入力ができる。</li> <li>コピー&amp;ペーストができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師が作成した表に数値や文字を入力ができる。</li> <li>コピー&amp;ペーストができる。</li> </ul>
eライブ ラリ		<ul style="list-style-type: none"> <li>教師から指示された単元を学習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>力をつけたい単元を選択して学習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一斉学習で確認テストをする。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>自ら選択学習を進める。</li> </ul>	

体系表の活用をサポートする動画を作成  
→どの学校・学級でも活用しやすくする

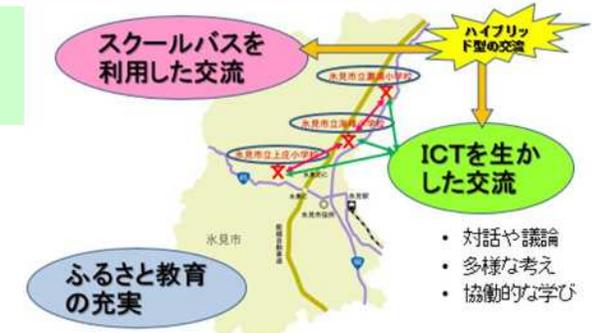


# ④ ICT教育の取組について

担当 教育総合センター

## ハイブリット型交流(上庄・海峰・灘浦小)

- ▶ 小規模2,3校で合同授業を行うことにより、多様な見方・考え方に触れたり、コミュニケーション力を培ったりする。



### 取組の経緯

- ・外国語科、道徳科、算数科等での合同学習
- ・3校合同宿泊学習(5・6年生)
- ・自己紹介やゲームで交流(1~4年生)



### 今年度の取組

- ・宿泊学習に向けたしおりの読み合わせ、グループ活動(5・6年生)
- ・オンラインでの交流授業(3・4年生)



しおりの読み合わせ(オンライン)



グループ活動(対面)



オンラインでの交流授業



# ④ICT教育の取組について

担当 教育総合センター

## ICT活用事例の収集・共有



/まなDX, 中学年  
活用の実際

### 対象学年

小学校・4年

### 活用の概要

- ・国語科「新聞を作ろう」の学習において、グループでデータを共有して文を編集した。
- ・新聞の内容を決めるために、インターネットで情報を検索した。
- ・字の大きさの変更、図形の挿入をし、読み手に分かりやすいように新聞の体裁を整えた。

### 関連スキル

- ・4年③④（情報検索、タイピング）

小中共通

朝の会

学校行事など

休み時間・放課後

帰りの会・下校

校務での活用・支援

小学校



グループでデジタルノートを活用しながら編集す 担当箇所を決め、各自で題名や本文を入力する。

# 各校での活用事例を収集、掲載し、共有できた。



# ⑤ふるさとと教育の取組について 担当 教育総合センター

## 「ふるさとと氷見を愛し、次代を担う人づくり」

### 「ふるさとと氷見」の活用

小学3年生・義務3年生～中学3年生・義務9年生  
「社会科」「総合的な学習の時間」等での活用



R6.3月 三版

- ・氷見の歴史、文化、特色等
- ・二次元コードを挿入し、「ふるさとと氷見」HPへ
- ・地域と連携した各学校の取組の推進

### ふるさと教育研修会(8月)

: 教職員対象

氷見市立博物館  
(博物館主査)



柳田布尾山古墳  
(博物館主査)

ひみラボ水族館  
(文化振興課査)



「ふるさとと氷見」を活用した  
研修のしおりの作成

# ◎ ⑥学力向上の取組について

担当  
教育総合センター

## 令和7年度全国学力・学習状況調査結果より（平均正答率）

### 教科に関する調査の結果より

(%)

小・義6	氷見市	全国	富山県
国語	68	67	69
算数	60	58	61
理科	62	57	62

(%) ※中理は、平均IRTスコア(点)

中3・義9	氷見市	全国	富山県
国語	55	54	56
数学	46	48	51
理科	515~ 545	503	515~

- 小学6年生・義務6年生は、すべての教科で全国平均正答率を上回り、中学3年生・義務9年生は、国語、理科で全国平均正答率を上回った。
- 小中学校共に、全教科において記述式の問題に課題がみられた。
- 「自分によいところがある」「将来の夢や目標を持っている」「人が困っているときは、進んで助けている」「困りごとや不安があるときに先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」など、回答した児童生徒の割合が、全国・県平均を上回った。
- コンピュータ等のICT機器の活用回数、家庭学習の時間数等に課題がみられた。





# ⑥ 学力向上の取組について

担当  
教育総合センター

## 令和のとやま型教育推進事業(市主体)

研究課題：主体的・対話的に学びを深める児童生徒の育成  
実践研究テーマ：問題発見・解決型学習、ICT教育  
講師：岐阜聖徳学園大学 教授 玉置 崇 先生(6・11月)  
大阪市立大空小学校 初代校長 木村 泰子 先生(7月)

### 海峰小学校 ＜算数科＞

- ・「考えを分かりやすくまとめ、表現することができる工夫」「ICTを活用した振り返りの累積」



＜振り返りの様子＞

### 灘浦小学校 ＜体育科＞

- ・「子供の思いや願いを大切にしたい単元構想の工夫」「考えを広めたり深めたりするための活用」



＜仲間と練習する様子＞

### 教育セミナー

子供が安心して学ぶことができる環境づくりや、全ての子供の居場所づくりの大切さについて



＜木村 泰子 先生＞<sup>19</sup>



## 情報活用能力の育成

A 基本的な操作スキルの習得

B 情報モラルの指導

C プログラミング教育



生活科、総合的な学習の時間(小学校)



クラブ活動(4~6年生)

### 「ルート」

端末にコードを入力し、スタートとゴールの場所を決めて、ロボットを動かす。

### 「スコッティゴー」

画面上のキャラクターが動かすために、カードを並べてコードを作成し、端末のカメラでコードを読み込む。

### 「コード・A・ピラー」

8つのパーツのつなぎ方を試行錯誤しながら動かす、意図した動きになるよう工夫する。



# ⑦学校におけるプログラミング教育について 担当 教育総合センター

## プログラミング教材の貸出

名称	写真	教材説明	個数
1 MESH(メッシュ)		様々な機能を持った「電子タグ」。アプリとつなぎ、画面上に並んだアイコンを動かしてプログラムを作ることができる。	14セット
2 Scottie Go!(スコッティゴー) スターターセット		実物のカードを並べて一連のコードを作り、タブレットPCのカメラで読み込むと画面のキャラクターが動く。	20セット
3 Scottie Go!(スコッティゴー) フルセット			10セット
4 ozobot(オゾボット)		本体下部のセンサーで紙に書かれた線をたどって走行する。進行方向や速度を変えることもできる。	11個
5 コード・A・ピラー		8つのパーツで構成されたイモムシ型ロボット。各パーツに動き方や音、光等がコーディングされたおり、並べた順番で動く。	8体
6 micro:bit(マイクロビット) ※来年度追加予定		プログラミング教育向けのマイコンボード。光、温度、加速度、入力スイッチ等が搭載されており、幅広い使い方ができる。	30個
7 Artec Robo(アーテックロボ)		カラーブロックで形を組み立て、プログラミングソフトで制御するロボット教材。ロボットを動かすことで楽しさを実感できる。	2セット
8 true true(トゥルートゥルー)			各1個
9 mbot(エムボット)			
10 codey rocky(コーディロッキ)			
11 coding Awbie(コーディングアービー)		ipadに専用パーツをセットして手作業と連動したプログラミング学習ができる。	1個
12 WeDo(ウイドウ)		レゴブロックを使い、モノを組み立て、ソフトでプログラミングをして動かす。	1セット
13 Root(ルート)		実践的なプログラミングを目に見える形で体験しながら、計算的思考スキルを養うことができる。30種以上の機能とセンサー、マグネット式ホワイトボード走行機能、長時間工藤バッテリーを活用したユニークな学習を通じて、プログラミングによってロボットを実際に動かす。	8セット

## プログラミング教材活用研修会



# ⑧外国語教育の取組について

担当 教育総合センター

## 外国語活動・外国語科の授業の充実

### ALTの配置(JETプログラムからのALT 7名体制)

令和7年4月～

8月～



### 「ふるさと教材英語版(We Love HIMI!)」の活用

外国語教育推進アドバイザーによる指導、助言  
稲積 玲子 氏

### ENGLISHセミナーの開催

- ・令和2年度より開催
- ・小学生の英語でのプレゼン能力の向上を目指して
- ・氷見のよさ、特色をPRする内容



7月 ENGLISHセミナー

- ・授業参観
- ・ENGLISHセミナー
- ・プレゼンテーション研修
- ・ALTの相談

# ◎◎⑨いじめ防止対策について

担当 教育総合センター

## いじめ防止に向けた取組

- ・「氷見市いじめ問題対策連絡協議会」
- ・「氷見市いじめ問題専門家委員会」
- ・教育講演会 大阪大学 名誉教授 小野田 正利 先生  
演題「『いじめ防止対策推進法』下で起きている  
学校・子供・保護者関係の変容を前にして最も必要なこと」



＜教育講演会＞

## 学校に対する支援

- ・WEBQUを活用した実態把握
- ・研修会等の実施
- ・相談体制の整備
- ・啓発活動（ネットを介したいじめ等）
- ・関係機関との連携・協力（SSW連絡等会議）



＜ネット対策フォローアップ事業＞  
（宮田小・窪小・西條中）

# ⑩ 不登校児童生徒への対応について 担当 教育総合センター

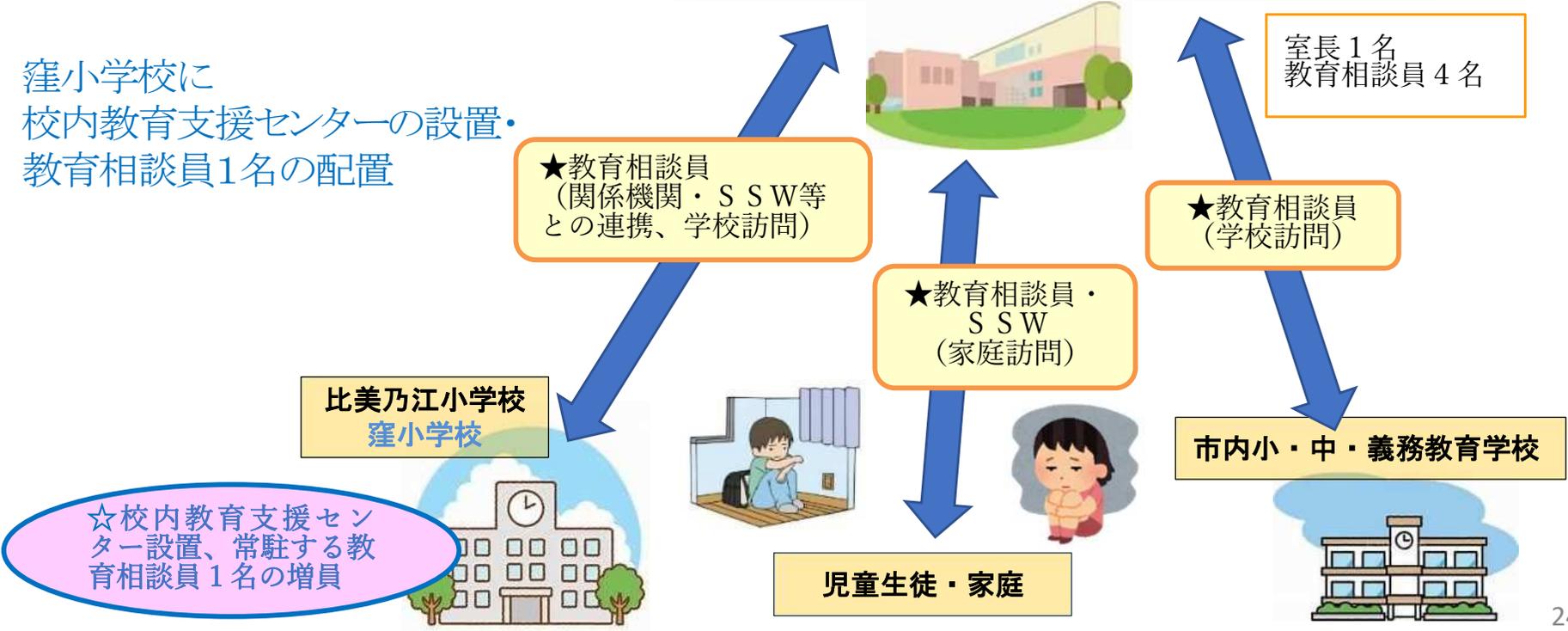
## 現状・課題

- ・全国の不登校児童生徒数は、小・中学校で約35万人にのぼり、過去最多の状況である。氷見市においても同様に増加傾向にある。
- ・不登校や不適応で教室に入れない児童生徒の要因は、複雑化・多様化しており、家庭、学校、関係機関等との連携、支援体制の充実がこれまで以上に求められる。
- ・令和7年比美乃江小学校に校内教育支援センターを設置し、教育相談員1名を配置した。不登校・不登校傾向の児童に対して、学習支援や相談支援を日常的に行うことにより、これまで不登校であった児童の登校日数や教室で授業を受ける回数が増えた。また、不登校の未然防止にもつながっている。

## 対策( 令和8 年度予定)

氷見市教育総合センター・教育支援センター「あさひ」

窪小学校に  
校内教育支援センターの設置・  
教育相談員1名の配置





## ⑪ 学校における働き方改革について 担当 学校教育課

### 出退勤調査の結果

#### (ア) 小中学校教諭 R7年度の超過勤務状況

- 昨年度と比べて、小学校・中学校とも超過勤務時間の平均は減少しており、特に4月～6月では全ての月で減少している。
  - ・ 中学校においては超過勤務時間が80時間以上の教諭が全ての月で減少または横ばいとなっている。
  - ・ 小学校・中学校とも4月から6月の超過勤務時間の平均が文部科学省が示す上限45時間を上回っていた。

#### (イ) 今年度の取組と課題

- ◎ 校務支援ソフトを活用し、勤務時間管理を一元的に教育委員会で行うとともに、超過の多い教職員については月ごとに勤務状況の改善を求めている。また、月100h以上超又は複数月で80h以上の教職員に対しては、校長と相談し、教育委員会の担当者が面談を行っている。
- ◎ 今年度から、4月は5日間の新年度準備期間を設け、始業式を遅らせ、教職員がゆとりをもって学校をスタートできるようにしたことで、4月の超過勤務時間を減少させることができた。
- ▲ 今年度中に「業務量管理・健康確保措置実施計画」を策定し、具体的な指針を示し、働き方改革を一層推進していく。



# ⑫ 中学校部活動の地域展開について

担当  
学校教育課

## ◆ 氷見市の部活動の状況（令和7年度）

		南部	北部	十三	西條	西の杜			南部	北部	十三	西條	西の杜
運動部		8	12	6	12	3	文化部		2	3	1	6	1
バスケットボール	男子				○		吹奏楽（ブラスバンド）		○	○		○	○
	女子		○		○		美術			○		○	
ハンドボール	男子	○	○		○		生活文化		○				
	女子	○	○	○	○		技術情報			○			
軟式野球		○	○	○	○		ボランティア				○		
バレーボール	男子		○		○		英語					○	
	女子	○	○		○	○	新聞					○	
ソフトテニス	男子		○				茶道・華道					○	
	女子		○				科学					○	
卓球	男子	○	○	○	○	○							
	女子		○	○	○	○							
バドミントン	男子		○										
	女子	○	○	○									
ソフトボール					○								
柔道				○									
剣道	男子	○			○								
	女子	○			○								
新体操													



## ⑫ 中学校部活動の地域展開について

担当  
学校教育課

### ◆氷見市の方針

平日の学校部活動は維持し、休日の部活動を地域クラブ活動として地域の指導者をお願いする併用型を基本に、実施できるところから段階的に取り組む

### ◆現在の状況、今年度の取組（令和8年1月現在）

- 国（スポーツ庁）の「地域クラブ活動への移行に向けた実証事業」を財源に事業を実施
- 昨年度から実施している男子バスケットボール、男子バレーボール、男子ソフトテニス、女子ソフトテニスの4チームに加え、11月より女子バレーボール（2チーム）開始
- 上記チームについて保護者説明会を開催
- 中学校入学説明会で令和8年度新1年生および保護者に説明
- 現中学1・2年生の保護者へ「休日の学校部活動の地域展開について」の説明資料配布
- 「氷見市中学校部活動のあり方検討会」を開始（11月、2月（予定））

### ◆令和8年度からの国の取組方針

令和8年度から令和13年度までを「改革実行期間」として

休日 改革実行期間内に、原則、すべての学校部活動において休日の地域展開等に着手

平日 各種課題を解決しつつ、更なる改革を推進（まず国において実現可能な活動のあり方を検証）

### ◆来年度の取組

- 女子バスケットボールの開始
- 指導者、団体、学校等と協議し、実施できるところから段階的に取り組む

## 「部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン」の概要②（令和7年12月）

### 改革の理念等

- 急激な少子化が進む中でも、**将来にわたって生徒が継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保・充実**
- 障害のある生徒や運動・文化芸術活動が苦手な生徒等を含め、**全ての生徒が希望に応じて多種多様な活動に参加できる環境を整備**
- 地域クラブ活動においては、**学校部活動が担ってきた教育的意義を継承・発展**させつつ、地域全体で支えることによる**新たな価値を創出**

### 【中間評価】

改革期間	令和5年度～7年度 「改革推進期間」	令和8年度～10年度 「改革実行期間」（前期）	令和11年度～13年度 「改革実行期間」（後期）
取組方針	<p><b>休日</b> 改革実行期間内に、原則、全ての学校部活動において地域展開の実現を目指す ※現時点で着手していない地方公共団体においても、<b>前期の間に確実に休日の地域展開等に着手</b> （中山間地域や離島等で地域展開が困難な場合には、当面、部活動指導員の配置等を推進）</p> <p><b>平日</b> <b>各種課題を解決しつつ、更なる改革を推進</b>（まずは、国において実現可能な活動の在り方等を検証）</p> <p>※学校部活動をベースとした地域との連携など、<b>地域の実情等に応じた多様な改革を進めていくことが重要</b></p>		
認定制度	<p>競技力向上を主目的としたチーム・スクール等との区別や質の担保等のため、<b>国が示す要件等に基づき、市区町村等が地域クラブ活動の認定を行う仕組みを構築</b></p> <p><b>【呼称】</b>「認定地域クラブ活動」 <b>【想定される認定の効果】</b> 公的支援（財政支援、学校施設の優先利用等）、大会・コンクールへの円滑な参加等</p> <p><b>【主な要件】</b> 活動時間（平日は1日2h程度以内、休日は1日3h程度以内） / 休養日（週2日以上、休日のみ活動の場合は土日どちらか） / 低廉な参加費 / 指導体制（日本版DBS活用を含めた不適切行為の防止徹底、指導者研修・登録等） / 安全確保 / 学校等との連携</p>		
地域展開の円滑な推進に当たっての対応	<p><b>推進体制</b> 国としての取組方針の提示・地方公共団体への支援・周知広報等 / 都道府県のリーダーシップ / 市区町村等が改革の責任主体 / 専門部署の設置・コーディネーターの配置 / 生徒が所属する中学校等との連携 / 関係団体等・大学・民間企業との連携等</p> <p><b>各種課題への対応</b> ①運営団体・実施主体の体制整備等 ②指導者の確保・育成 ③活動場所の確保(学校施設の有効活用等) ④移動手段的確保 ⑤生徒の安全確保 ⑥障害のある生徒の活動機会の確保 ※6項目について具体的な取組内容等を整理</p> <p><b>ニーズ反映・参画促進等</b> 生徒等のニーズの把握・反映 / 地域クラブ活動への参加促進のための情報提供等（体験会の開催、入学説明会等でのオリエンテーション、ポータルサイトなどによる一元的な情報提供等） / 生徒のクラブ運営等への参画（生徒同士の話し合いなど）</p>		
部活動の在り方	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 適切な運営のための体制整備（部活動に係る方針策定、部活動指導員等の配置や合同部活動の実施、勤務時間管理・業務改善等）</li> <li>● 適切な指導及び安全・安心の確保（暴力・暴言・ハラスメント・いじめ等の不適切行為の根絶、事案発生時の迅速な対応・再発防止、過度な練習等の防止等）</li> <li>● 適切な活動時間・休養日等の設定 ● 生徒のニーズを踏まえたスポーツ・文化芸術環境の整備</li> </ul>		
大会等の在り方	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 生徒の参加機会確保（地域クラブ活動等の参加促進等） ● 大会等への引率や運営に係る体制整備（教師以外の関係者の参画促進等）</li> <li>● 生徒の安全確保（熱中症対策等） ● 大会等の在り方の見直し（多様なニーズを踏まえた大会等の開催等）</li> </ul>		
関連制度	<p>従事を希望する教師等の兼職兼業の円滑化（中学校教師だけでなく小学校教師（体育専科等）や高校・特別支援学校の教師等を含む）、教師の人事・採用での部活動指導力の評価における留意、高校入試における取扱いなど</p>		



# ⑬氷見の教育魅力化について

担当 学校教育課

## 令和7年度の取組

### ① 教育の魅力化のための協議会や教育イベント等の開催

教育関係者だけでなく、市内の各種団体や住民が教育や学びについて考える場を設け、市民の教育に対する関心を高めるとともに、改めて氷見市の教育を考える契機とする。

⇒ひみ教育魅力化協議会の開催(3回)、ひみ教育フォーラム2025の開催(1回)

### ② 氷見高校生ふるさと活性化事業

氷見高校が実践する地域協働探究学習『未来講座HIMI学Ⅰ、Ⅱ』における支援

⇒地域連携コーディネーターの委託、生徒の考案した事業の実施に係る費用負担等

### ③ 中学校及び義務教育学校地域連携事業補助金

『総合的な学習の時間』において、地域について深く学び、探究学習を行うための支援

⇒地域連携コーディネーターの委託(北部中学校)

※ 令和8年度～ 全中学校及び義務教育学校後期課程で実施予定

### ④ 氷見高校生海外派遣事業費補助金

山森財団が企画する氷見高校生の海外短期留学事業(シリコンバレー)への補助

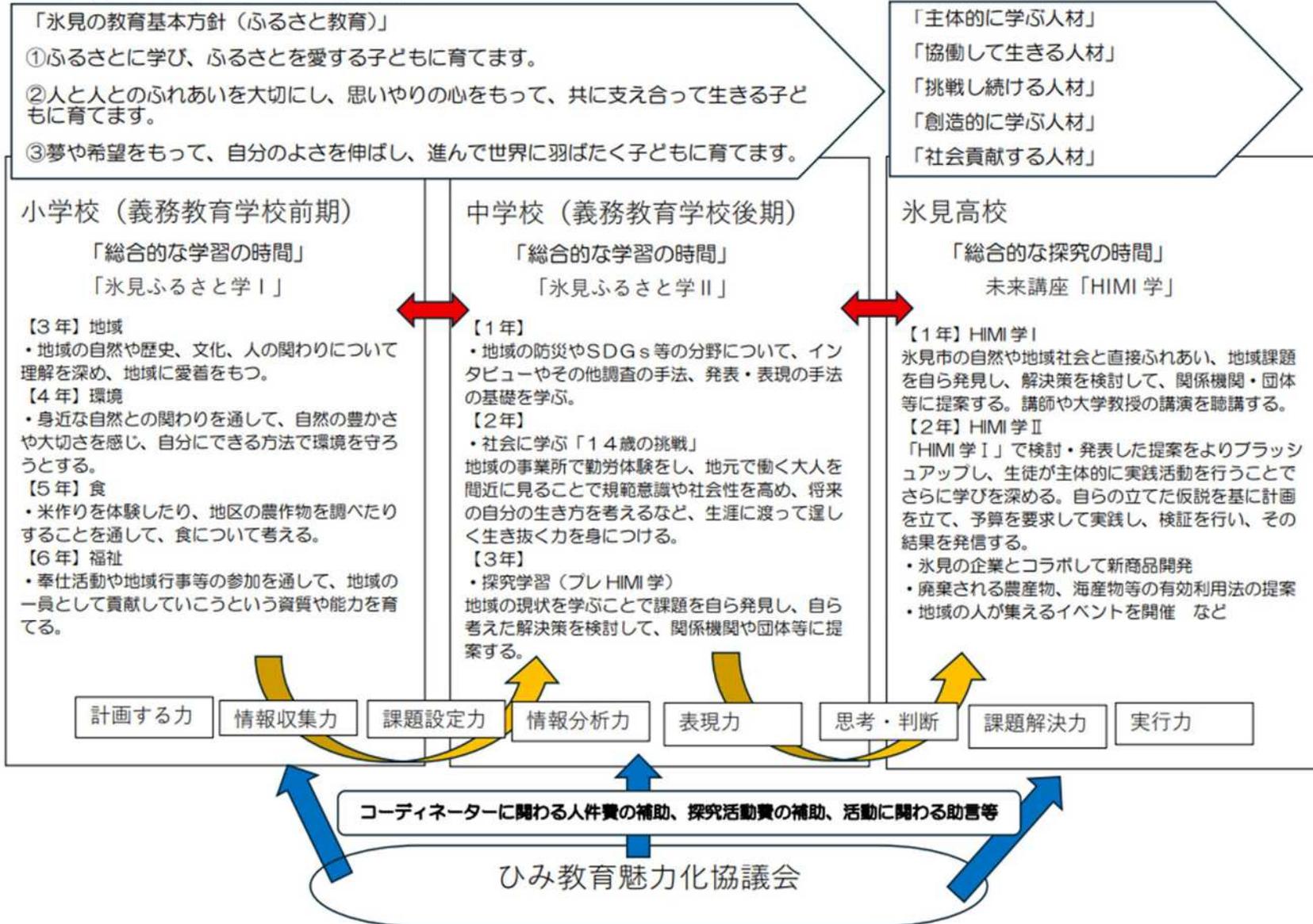
⇒実施費用の1/6を負担



# ⑬氷見の教育魅力化について

担当 学校教育課

## 氷見の教育魅力化事業費





# ⑬ 氷見の教育魅力化について

担当 学校教育課

## ひみ教育魅力化協議会について

### 設立の経緯

教育現場と地域を繋げ、より充実した教育の実現を目指し令和元年度に設立。氷見高生の資質・能力の向上や地域活性化への意欲の醸成など、将来を担う人材の育成による、教育面からの魅力化を図る。また、令和2年3月には氷見高校と包括協定を締結して、地域の方々や市内の事業者とともに、氷見高校の活動を支援してきた。

### 目的

地域とのかかわりを通し、氷見市の教育の魅力さをさらに高めて、小・中・義務教育学校と高等学校との連携をより一層深めるとともに、本市における各界各層の多様な主体、関係者等の参画により、幅広く連携することで、本市で育つ子供たちへの継続的な支援を図ること。

### 委員

富山大学教育学部、氷見高等学校、氷見市自治振興委員連合会、氷見商工会議所、氷見公共職業安定所、氷見市農業協同組合、市企画政策部長、氷見市教育委員会事務局次長、教育総合センター所長

### 主な議題

- ・氷見高校の地域連携学習「未来講座HIMI学」への支援について
- ・小・中・義務教育学校と氷見高校の連携について
- ・教育フォーラムや講演会、講座などの開催について



## 計画策定

本市では、令和3年度に「第3期教育振興基本計画（計画年度：令和4年度～令和8年度）」を策定し、氷見市の実情に合った教育施策を推進している。この計画は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第1条の3第1項の氷見市教育大綱として位置付けている。令和8年度には、国・県等が進める教育基本方針に照らし、第9次氷見市総合計画後期基本計画との整合性を図りながら「第4期教育振興基本計画」を策定する。

## 内 容

この計画は、氷見市教育委員会に関連する施策全体を網羅した計画であり、氷見市の教育行政推進の基本となる計画である。

○計画期間 令和9年度～令和13年度（5年間）

○策定根拠 教育基本法第17条第2項

○これまでの計画

第1期 平成24年度～平成29年度（6年間）

第2期 平成30年度～令和 3年度（4年間）

第3期 令和 4年度～令和 8年度（5年間）



## ⑮市立学校の夏季休業日の見直しについて 担当 学校教育課

平成30年度から、市立学校の夏季休業期間を変更して年間授業日数を増やし、弾力的な教育課程を編成することで、学力の向上や豊かな教育活動の展開を図ってきた。

その後、コロナ禍を経て、各学校においては、従前の教育活動を見直すことにより、国が示す標準授業時数を十分に確保できるようになった。

また、学習指導要領の確実な実施とともに、児童生徒用タブレット端末などのICTを活用した学びの充実も進んでいる。

こうした中、昨今の猛暑を受け、学習活動中や登下校時の児童生徒の健康安全を守るための熱中症等の対策が必要となってきた。

これらのことを踏まえ、令和8年度から市立学校の夏季休業日を見直しを行いたいと考えている。

### 対象校

市立学校全14学校（小学校9校、中学校1校、義務教育学校1校）

### 計画策定

現行 7月25日から8月26日まで

見直し後 7月25日から8月31日まで（5日延長）

### 主な理由

- ・富山県の真夏日と猛暑日の日数を令和2年と令和7年で比べると、真夏日は56日から85日に増加（約1.5倍）、猛暑日は14日から29日に増加（約2倍）しているため

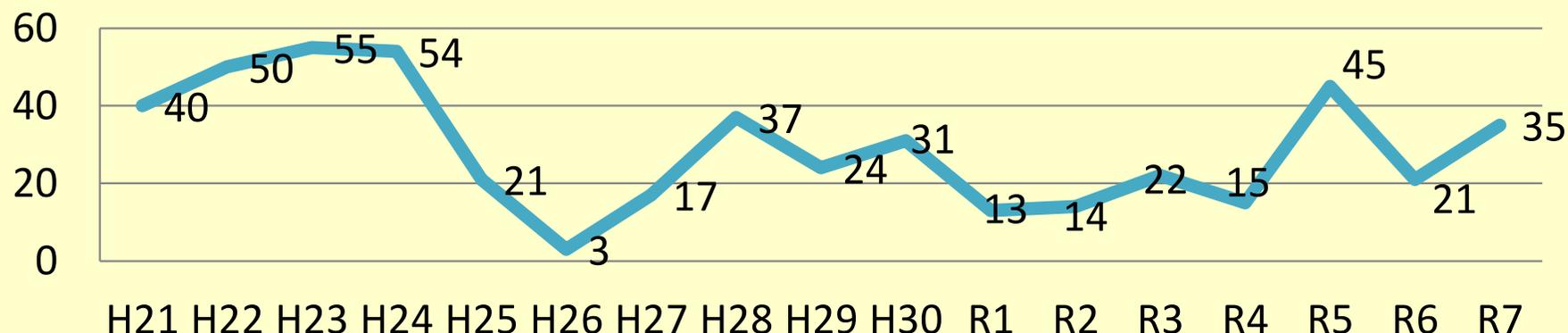
- ・特に小学校の低学年が下校する午後2時から3時頃までは、1日のうちで最も気温が高い時間帯であり、徒歩帰宅児童にとっては、熱中症のリスクが高く、危険であるため



# ①⑥少年補導の状況について

担当 文化振興課

## 不良行為少年の補導人員の推移(氷見警察署 管内)



### 本市の青少年健全育成の取組

#### ○青少年育成氷見市民会議と連携した事業の実施

- ・ 会員団体（小・中・高校長及びPTA、少年補導員連絡協議会、保護司会、青年会議所、児童クラブ連盟、ユネスコ協会、ボーイスカウト、主任児童委員、婦人会 等）
- ・ 非行防止標語の募集とPR、写生画コンクールinひみラボの開催、氷見市青少年意見発表大会の開催、「とやま県民家庭の日」作品コンクールへの出品の依頼、あいさつ運動の実施等

#### ○氷見市少年補導員連絡協議会（市民から22名を少年補導委員に委嘱）による補導活動

- ・ 通常補導（隔週金曜日に市内スーパー、コンビニ、書店を巡回）
- ・ 特別補導（祇園祭り、ごんごん祭り、ひみまつり、夏休み時の夜間補導） 等

※夜間の巡回補導活動をして、声掛けをする機会がほとんどないことに加え、不穏な状況を見つけて警察へ通報する事案がここ数年ないことから、氷見市少年補導センターは令和7年度末で廃止とし、少年補導委員の委嘱22名は今後行わない。今後は氷見警察署が委嘱する少年補導員30名（内22名はこれまで市と重複）が巡回補導活動を行う。



# ⑰ 芸術文化館の利用状況について

担当 文化振興課

## 施設利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
R 6	件数	187	235	288	303	285	266	301	299	259	229	225	240	3117
	人数	5,373	22,294	6,868	18,681	31,744	6,418	10,321	41,176	8,343	6,380	5,079	6,947	169,624
R 7	件数	207	323	277	248	259	242	294	307	273				2,430
	人数	11,386	15,927	8,405	9,655	34,431	5,566	11,095	8,027	5,367				109,859

## うちホール利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
R 6	件数	12	31	18	27	26	14	24	20	12	12	15	18	229
	人数	3,045	18,959	3,996	16,176	28,417	3,229	7,364	5,120	5,509	3,948	2,529	4,507	102,799
	稼働率	48%	100%	69%	93%	87%	58%	96%	80%	50%	52%	65%	69%	74%
R 7	件数	7	16	17	15	27	13	24	16	11				146
	人数	4,030	13,203	5,415	6,372	32,123	3,291	8,071	5,529	2,483				80,517
	稼働率	28%	59%	65%	60%	90%	52%	96%	67%	46%				63%



# ⑰ 芸術文化館の利用状況について

担当 文化振興課

## 主催公演等の状況

公演名	公演日	入込率	備考(チケット代など)
クロワッサンサーカス	4/26(土)・27(日)	(4,200人)	無料
DINO-A-LIVE 超恐竜体験 in 氷見	5/3(土・祝)～ 5/6(火・振)	(10,038人)	ダイナミックシート6,000円、芝4,800円、 1階いす4,800円、2階いす3,000円
丘みどりコンサート	5/31(土)	80%超	一般6,500円、高校生以下2,500円
氷見大恐竜博	7/25(金)～ 8/20(水)	(35,610人)	大人1,500円、小中学生1,000円、 未就学児500円
石丸幹二コンサート with クリヤ・マコト	9/23(火・祝)	85%超	一般5,500円、高校生以下2,500円
国際音楽交歓コンサート2025	10/12(日)	85%超	無料
志の輔らくご ブリリアント4	10/13(月・祝)	95%超	一般4,500円、高校生以下1,500円
佐渡裕指揮 シエナ・ウインド・オーケストラ演奏会	11/9(日)	95%超	一般9,800円、高校生以下3,500円
モーニング娘。'25 コンサートツアー	11/22(土)	(1,881人)	スタンディング7,800円、ファミリー 席8,300円、高校生以下2,500円
松田理奈ニューイヤーコンサート	1/12(月・祝)	60%超	一般3,500円、高校生以下1,000円
ディズニープリンセス - ザ・コンサート	1/27(火)	95%超	一般9,800円、高校生以下3,500円

## アウトリーチ活動等

アウトリーチ活動推進事業	芸術家を学校や福祉施設に派遣し、体験型のコンサートや講座を実施	13回開催(予定)
--------------	---------------------------------	-----------

# ⑱教育文化センター機能強化推進事業について

担当 文化振興課

## 背景

竣工から43年が経過し、老朽化が著しい氷見市教育文化センターの機能強化を図るための施設・設備の改修等について検討を行うもの。

## 事業概要

教育文化センターの耐震補強、空調改修、長寿命化が喫緊の課題となる中で、施設の現状の把握と、市民ニーズや社会的要請に応じた利用環境の整備に必要な工事内容の検討を行う。

また、教育文化センターを、楽しみながら、集い、学ぶことができる複合施設として、そして、市に対する誇りと愛着を育む「ふるさと教育」を推進する施設として活用するプログラムを構築するなど、ソフト面についても機能強化を図る。

これらの検討にあたっては、ワークショップを開催し、若者をはじめとする利用者や地域住民との意見交換を行いながら進めていく。





# ⑱ 図書館サービスの充実について

担当 図書館

## 現状と課題

- ・ 超高齢社会の到来や人口減少、地域のつながりの希薄化など、社会状況が変化し、市民ニーズも多様化している。
- ・ 地域の中で図書館の機能を最大限に発揮し、「学びと活動を通じたつながりづくり」の役割を果たすため、蔵書の整備・収集・提供を適正に行い、また、ICT時代に対応した図書館サービスを行うなどして貸出者数・貸出冊数の増を図り、市民サービスの向上に努めなければならない。

## 事業概要

人口減少が進んでいくなかで、来館者増・利用者増を図る取組

- ・ 図書企画展示 年間約150回展示（一般開架室、児童図書室、電子図書館）
- ・ イベント開催：クレヨンアート、無料上映会（映画、親子向けアニメ）、クリスマス会、こどもフェスティバルなど
- ・ ホームページ、広報ひみ、フェイスブック等による情報発信、広報活動
- ・ 電子図書の利用促進（オーディオブックの購入） ・ 移動図書館車による巡回（53か所）

## 図書館利用状況

単位(人、冊)

年度別		貸出者数(複数回の利用を含む)									貸出冊数					
4~12月計	日数	一般	高校生	中学生	大人合計	小学生	幼児	小児合計	その他	合計	一般書	児童書	雑誌	AV	その他	合計
R7年度	227	22,169	150	294	22,613	1,488	933	2,421	3,090	28,124	61,270	54,797	4,448	1,061	12	121,588
R6年度	223	19,864	176	238	20,278	1,260	845	2,105	2,739	25,122	62,695	53,085	4,521	710	11	121,022
増減	4	2,305	△ 26	56	2,335	228	88	316	351	3,002	△ 1,425	1,712	△ 73	351	1	566



### 事業概要

「氷見市文化財保存活用地域計画」の策定を、令和7年度より4か年の国庫補助事業として実施する。初年度は文化庁との協議を行うとともに、氷見市文化財保存活用地域計画作成協議会を立ち上げ、市内の未指定文化財等の把握とその調査を実施する。

### 事業のスケジュール

- 令和7年度
  - ・文化庁担当者ヒアリングおよび氷見市文化財保存活用地域計画作成協議会の実施
  - ・市内文化財の現状把握と情報収集および市民意識調査アンケートの実施
  - ・地域計画素案作成
- 令和8年度
  - ・文化財に関するワークショップの開催および市内文化財の現状把握と情報収集
  - ・地域計画素案作成
- 令和9年度
  - ・文化財に関するワークショップの開催および市内文化財の現状把握と情報収集
  - ・地域計画素案作成
- 令和10年度
  - ・素案の修正および氷見市文化財審議会の意見聴取
  - ・議会・教育委員会等報告、パブリックコメント実施、認定申請準備
- 令和11年度
  - ・認定申請、令和11年度7月認定（目標）



# ⑳ スポーツを通じた地域活性化の取組について

担当 スポーツ振興課

## スポーツを通じた地域活性化の主な取組 (令和8年1月現在)

### 1 地域を活性化させるスポーツイベントの開催

#### (1) 氷見キトキトウオーキングの開催

- ・10月26日(日)に、第21回氷見キトキトウオーキングを開催(参加者:407名)  
氷見市芸術文化館を会場に初めて開催し、北は北海道、南は福岡県と全国各地から参加者が集まり、参加者の最高齢は87歳であった

#### (2) ハンぎょボール大会の開催

- ・10月19日(日) スポーツ健康まつりでハンギョボール大会を開催(参加者:150名)

#### (3) 春の全国中学生ハンドボール選手権大会の開催

- ・3月25日~29日に第21回春の全国中学生ハンドボール選手権大会を開催します  
県代表(男子:西條 女子:十三・南部) 開催地代表(男子:北部 女子:北部) 振興枠代表(男子:ターミガンズ 女子:ターミガンズ)



第21回氷見キトキトウオーキングの様子



ハンギョボール大会の様子(スポーツ健康まつり)



第20回春中ハンド開始式での特別表彰の様子

## 2 スポーツと関わる機会の創出

### (1) リーグH 富山ドリームスのホームゲーム開催

- ・ハンドボール国内トップリーグの富山ドリームスのホームゲーム開催（観衆：約1,000名×3回）

### (2) 世界少年野球推進財団による親子野球教室の開催

- ・6月21日（日）に中畑清氏を招き年中～小学校低学年を対象に「親子野球教室」を開催（参加者：160名）



富山ドリームスのホームゲーム開催（ふれスポ）



中畑清氏による親子野球教室の様子（氷見運動公園野球場）



## 3 スポーツ交流及び関係人口の創出

### (1) スポーツ合宿の誘致・受け入れ

- ・法政大学応援団（応援リーダー、チアリーディング、吹奏楽）総勢120名が氷見市で合宿を行った

### (2) ゆるスポーツ「ハンぎょボール」による交流

- ・市内外でゆるスポーツ「ハンぎょボール」による交流を行った。（12回 836名）



法政大学応援団がふれあいスポーツセンター合同練習する様子（応援リーダー、チアリーディング、吹奏楽）



ハンぎょボールで200名が交流（東久留米市にて）



## 背景・経緯

開設から26年が経過しているふれあいスポーツセンターについて、個別施設計画に基づいた修繕、改修を行うことで、施設の長寿命化を図る。令和8年度から令和9年度にかけては、屋根（天井）の腐食部分の改修と浸水を防ぐ屋根全体の防水工事などの屋根改修工事を行う。工事に当たっては、利用者の安全を確保するとともに、利用者への影響が最小限になるよう施工計画を検討する。

令和8年度中の工事については、ふれあいスポーツセンターアリーナの利用には影響のない見通しであるが、駐車場や芝生広場の一部が利用を制限する可能性がある。令和9年度工事については、サブアリーナが一定期間で利用できなくなる見通しである。

### 令和7年度

令和7年度 実施設計（工事費及び工事スケジュール）

### 今後の予定

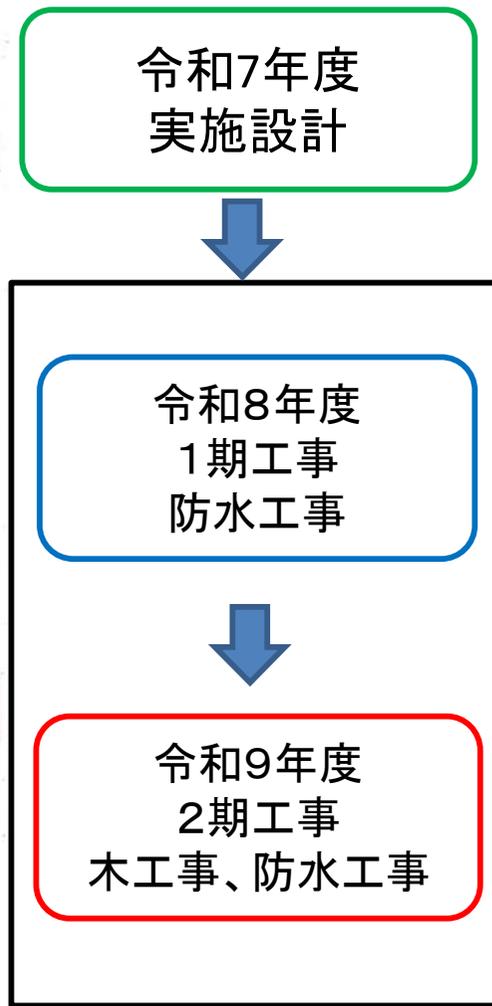
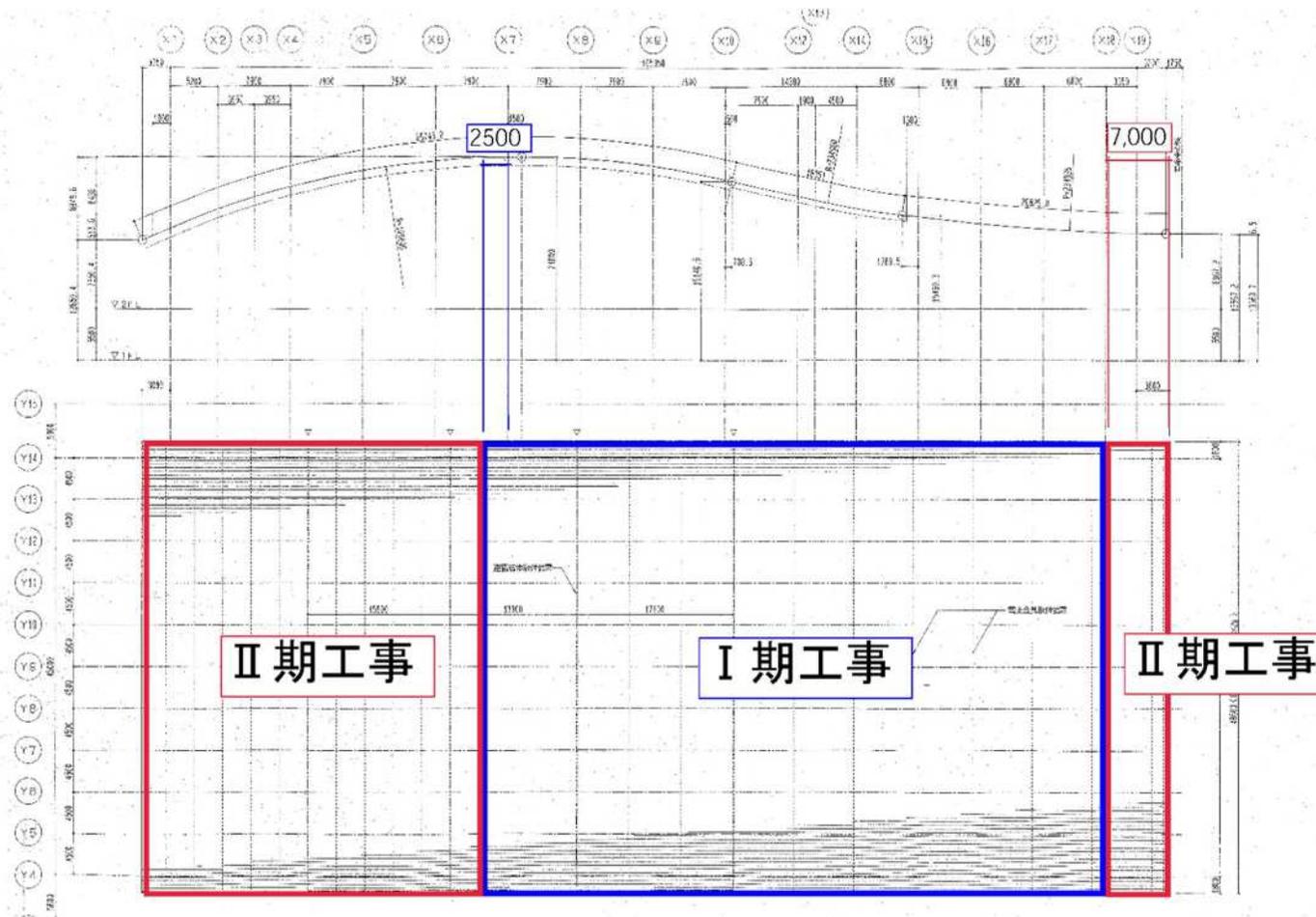
令和8～9年度の継続費を設定

- ・令和8年度 1期工事 屋根防水工事（中央部分）を実施
  - ・令和9年度 2期工事 木工事、屋根防水工事（両端部分）を実施
- 工事期間 ～令和9年11月まで（予定）



## ●改修工事のスケジュール

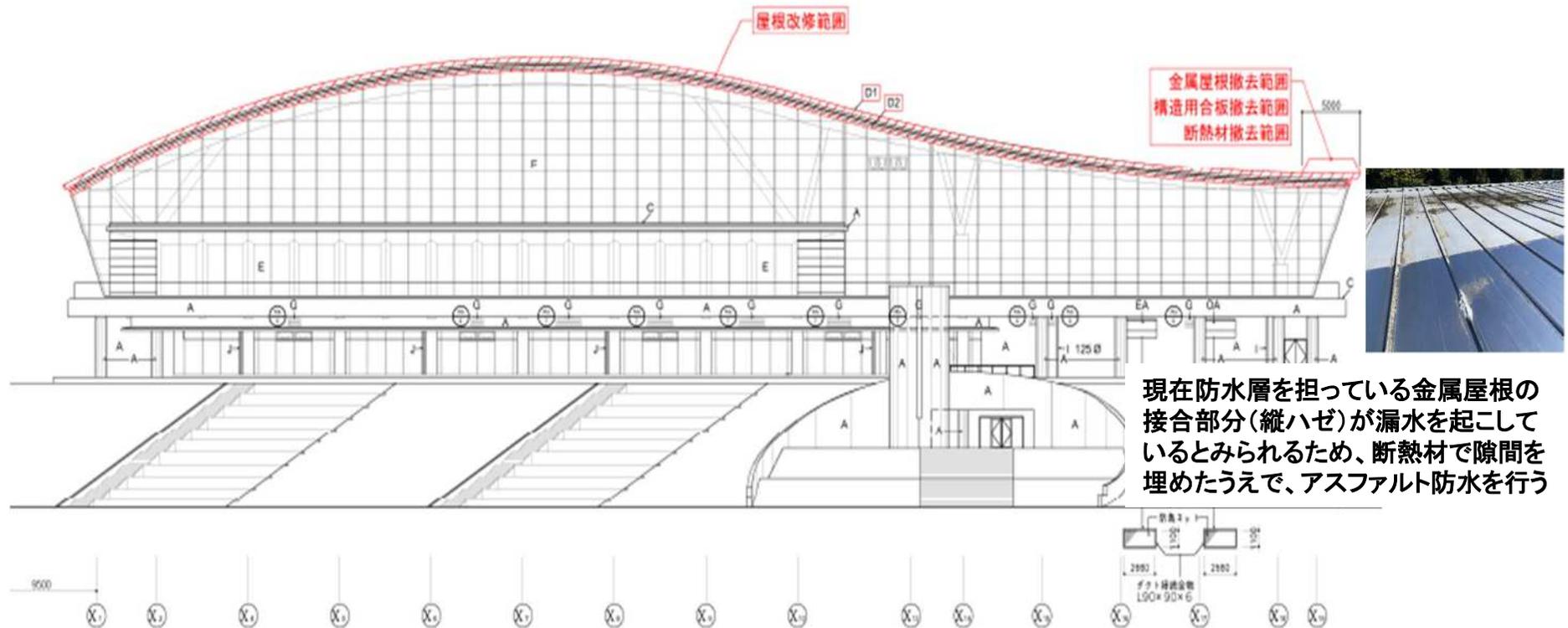
- ・費用の平準化と工期の確保のため、工期を2期に分割し、2カ年で行う
- ・令和6年度：基本設計、令和7年度：実施設計、令和8年度～9年度：本工事実施





## ●防水工事について

防水工事にあたっては、一部の防水では効果が限定的かつ屋根としての保証(10年間)も適用することができないこと、ふれあいスポーツセンター屋根の防水機能自体が建築当初から26年が経過しているため防水機能が低下していることから、全面の防水工事が必要である。

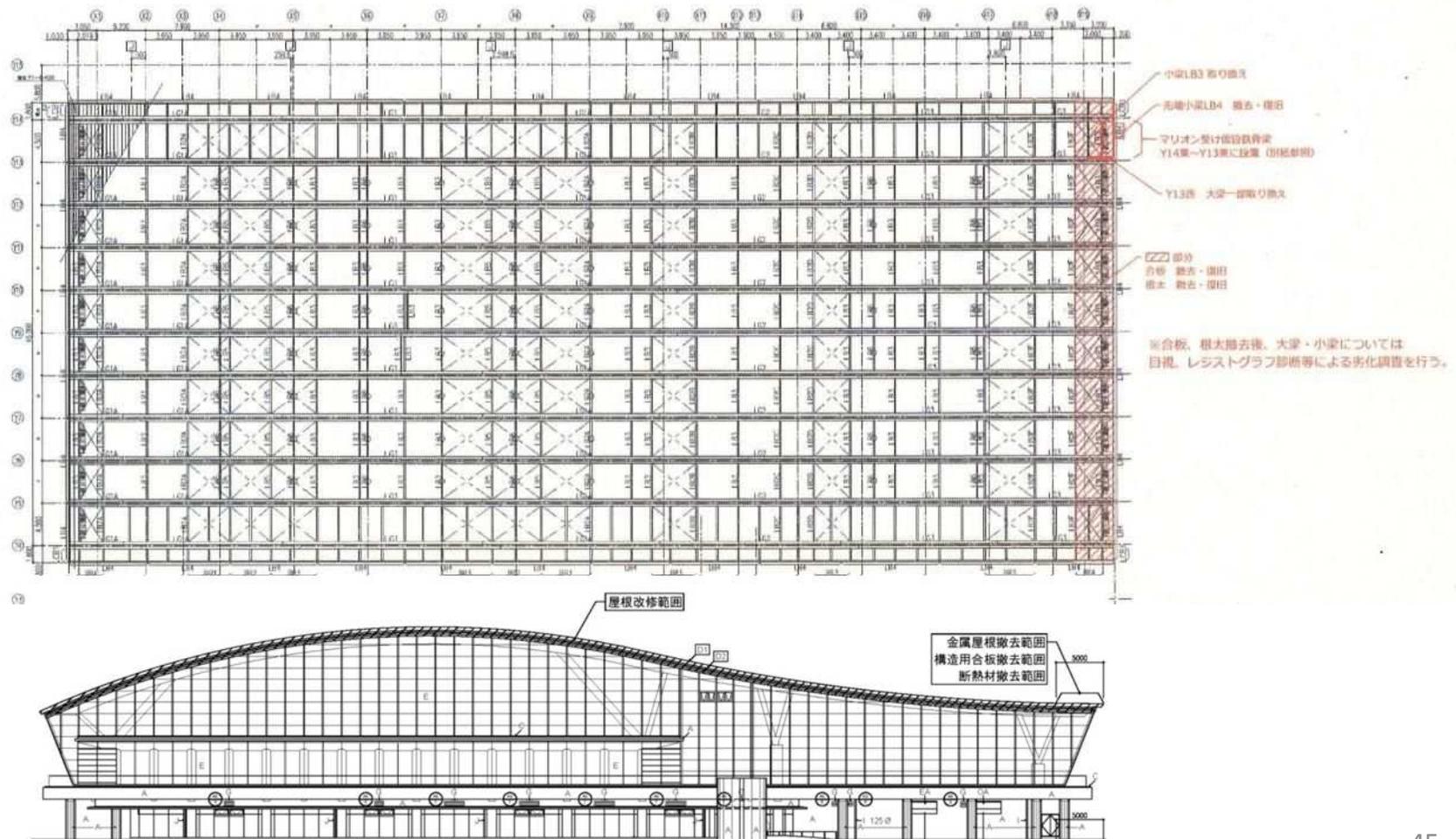


現在防水層を担っている金属屋根の接合部分(縦ハゼ)が漏水を起こしているとみられるため、断熱材で隙間を埋めたうえで、アスファルト防水を行う



## ●木工事について(R9年度実施予定)

- ・腐朽した屋根板、根太、小梁、大梁の一部を置き換える。
- ・施工範囲は軒先から5m程度、金属屋根を撤去して内部木材の工事を行う。





## ②③ 体育施設解体事業について

担当 スポーツ振興課

### 背景・経緯

比美乃江小学校に併設されている氷見市民柔剣道場練修館（昭和51年築）は、平成25年に実施した耐震診断にて不適合となっており、現在は体育施設として利用されていない。

また、建築物としての劣化が進んでおり、震災後には天井材の剥離や周辺の隆起などの影響がみられ、その後の大雨でも入り口部の天井が落下するなど、構造の劣化が進んでおり危険な状態である。加えて、建築時期からアスベストの利用がされている可能性が高いと判断するため解体する。

解体後の跡地は舗装して、スクールバスの駐車場などに利用される予定である。

### 今後の予定

令和8年4月	入札（設計委託）
6月～7月	設計委託（アスベスト調査含む）
8月	入札（解体工事、舗装工事）
9月～	解体工事→舗装工事
令和9年2月まで	完了

# ◎ 体育施設解体事業について

担当 スポーツ振興課

## 解体工事スケジュール

